

まつえ 市議会だより

No. 53

2022
9月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER



9月定例会

補正予算、条例改正、決算審査

P2~6

9月定例会一般質問

17人の議員が質問

P8~12

(シリーズ)

松江の元気な子どもたち②②



「みんなが見えた〜!!」 一忌部幼稚園一運動会でパラバルーンを見てもらうのをとても楽しみにしている子どもたち。息がピッタリ合うと向こうの人が見えて大喜び。この笑顔が大成功の合図です。

〈取材：中村委員・たちばな委員〉



9月定例会

令和4年9月7日～10月4日

令和3年度決算、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、電力・ガス・食料品等価格高騰等総合緊急対策に関する補正予算等を審議

今議会では、市長提出議案38件（内訳は表の通り）を審議し、全て原案通り可決・認定しました。また、議員提出の意見書案2件、諮問1件を可決しました。

一般質問には17人の議員が立ち、新型コロナ対策、教育、障がい者福祉、公共施設の利用、農林水産業の担い手、産業振興、観光等について市の見解を問いました。

令和4年度松江市一般会計補正予算(第4号) 20億2,779万円増

新型コロナウイルス感染症対策として、感染症の拡大防止と医療体制の整備、水道料金の減免、飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家・燃料価格高騰の影響を受ける交通事業者・貨物運送事業者等、国の総合緊急対策に基づいた市民生活・事業者を支援する内容。

令和4年度松江市一般会計補正予算(第5号) 7億5,139万円増

新型コロナウイルス感染症対策として、オミクロン株に対応したワクチン（オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチン）等の接種を実施するための体制整備を行う内容。

令和4年度松江市一般会計補正予算(第6号) 13億1,163万円増

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯などに対し、1世帯当たり5万円を給付する内容。

条例の改正（主なもの）

松江市職員の定年等に関する条例等の一部改正について

地方公務員の定年年齢を引き上げるための地方公務員法の改正等に伴い、松江市職員の定年・給与等について必要な整理を行い、関係する条例を改正するもの。

議員提出案件の審査結果

件名	結果
議員提出議案 第5号 公立中学校等における部活動の地域移行を円滑に進めるための意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案 第6号 教育デジタルトランスフォーメーションを継続的・発展的に進めるための意見書について	原案可決（賛成多数）

審議した議案等

市長提出案件	38件	
内訳	条例案件	7件
	一般案件	8件
	予算案件	9件
	決算	14件
議員提出案件	2件	
諮問	1件	
合計	41件	

令和3年度決算審査

議長と議会選出監査委員を除く議員31名で構成する決算特別委員会を設置し、令和3年度一般会計（1件）、特別会計（8件）、公営企業会計（5件）について審査しました。9月16日に各会派の総括質疑を行い、詳しい内容については各委員会の決算分科会に分担・委託し審査を行いました。

令和3年度は4月に市長選挙を控えていたことから骨格予算でスタートしましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策として生活支援や経済対策に取り組むとともに、島根町でおきた大規模火災や7月・8月の大雨災害への復旧費を計上するなど、市民生活を守る対策を最優先に取り組まれた決算となりました。

一般会計決算状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳入決算額	1,018億3,792万円	1,280億1,466万円	1,109億2,488万円
歳出決算額	1,003億3,796万円	1,251億9,486万円	1,079億1,050万円
差引（歳入－歳出）	14億9,996万円	28億1,980万円	30億1,438万円

決算特別委員会での各会派代表の総括質疑（主なもの）

（質）ふるさと納税が増収となった。その評価と課題について伺う。

（答）令和3年度は合計1億5,718万8千円となり、前年度に比べ、187%、7,318万2千円の増となった。これは、「松葉ガニ」「しまね和牛」など返礼品の種類を増やし、「しじみ」「米」などでパッケージサイズを多様化したことや「さとふる」「三越伊勢丹」といった「ふるさと納税ポータルサイト」の増設、島根町加賀の大規模火災や昨年7月の大雨災害に対する寄附が寄せられたことなどによって増加したものと評価している。一方、知名度の向上や、返礼品の充実化による多様なニーズへの対応が現状の課題と認識している。

（質）みんなにやさしいデジタル市役所推進事業として、AI化やデジタル化を進めているところであるが、本事業の達成状況を伺う。

（答）令和3年度は、LINEで子育て相談ができる「まつえの子育てAIコンシェルジュ」を開設し、また病児保育施設予約サービス「あずかるこちゃん」の運用準備を進めたところであり、24時間いつでもスマートフォンから手軽に相談や申請ができると利用者から好評を得ている。

（質）松江市立病院と松江赤十字病院で連携協定を締結されたが、その特徴的な効果を伺う。

（答）令和3年12月に、松江圏域における医療提供体制の充実を図り、地域住民の皆さまに対し、将来にわたり安全・安心で質の高い医療を安定的に提供することを目的とし、協定を締結した。相互協力の意識が高まり、役割分担によって効率的な医療提供が可能となったことが大きな効果である。現在、泌尿器科領域における相互の患者紹介をはじめ、ゲノム医療における症例検討会や講演会の合同実施、さらに心臓血管外科・放射線科医師による手術・検査の相互支援などに取り組んでいる。松江赤十字病院長と具体策について協議を重ねており、さらに連携を図ってまいりたい。

（質）ICT機器（電子黒板、タブレット等）配備率は100%であり環境面ではほぼ確立できた。ICT活用教育推進事業の現状と課題を伺う。

（答）ハード面での整備は進んだが、学校のネットワーク回線の通信速度の課題が残っている。GIGAスクール構想のスタート時、早期に低コストで既存の資産を有効活用する方針で整備を行った結果、現状のネットワーク回線ではコロナ禍を経て活用が広がったオンライン授業において動作が遅くなるなど、十分な機能が発揮できない場合があることが判明した。そのため、通信の負荷が分散できる方式の導入実験を実施し、その結果を踏まえ、令和5年度に市内全校の通信環境の改善整備に取り組みたい。

ICT活用教育を着実に進めるため、スピード感を持って、より利便性の高い環境整備の推進と、教職員研修や情報共有といったソフト面の支援強化に取り組み、個別最適な学びの実現と、主体的に学び合う子どもたちの育成を目指していく。

一般会計 …………… **認定（賛成多数）**

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているなか、地域経済の循環と観光の推進を図るため、積極的な対策を早急に実施されたい。
- ◆アフターコロナに向け、観光促進や地域資源を活かした取組に磨きをかけ、国の高付加価値化事業など有利な事業に積極的に呼応し、観光地松江づくりに尽力されたい。
- ◆コロナ禍で事業継承が困難な事業者が出ている。これら事業者に対する支援と地域産業の維持に取り組まれたい。
- ◆長引くコロナ禍への対応、度重なる災害対応等、保健師などの専門職、土木・建築などの技術職の必要性が高まっている。これら専門職、技術職の増員、育成に努められたい。
- ◆必要な公共工事については、受発注ともに適正かつスピード感ある工事発注制度を検討され、地域要望等への対応など安心安全な地域づくりについて積極的に投資されたい。
- ◆SDGsの取組については、各部局横断的な取組が欠かせない。部門間の連携に努められたい。また、目指すべき姿がイメージできるよう、目標についてはより具体的に示されたい。
- ◆農業基盤や農業施設の老朽化や脆弱化が目立っている。小規模農地に対しての災害支援にも積極的に取り組まれたい。
- ◆マイナンバーカード交付率の全国平均以上を確保するよう注力されたい。
- ◆教育費については十二分に確保され、子どもたちの教育環境充実に努められたい。
- ◆公共施設の維持管理費の縮減のため、未利用施設の利活用について更に検討し、大胆な整備を図られたい。
- ◆ブルーカーボン推進事業において、松江市独自の地域振興・産業振興及び環境保全への取組を確立されたい。

特別会計（8件）

認定（全会一致）

宍道国民健康保険診療施設事業
 企業団地事業
 公園墓地事業
 鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区
 母子父子寡婦福祉資金貸付事業

認定（賛成多数）

国民健康保険事業
 後期高齢者医療保険事業
 介護保険事業

公営企業会計（5件）

水道事業 …………… **認定（賛成多数）**

- ◆公共が担う水道事業として、適切かつ安定的な事業運営を基本に、広域化、防災、まちづくりなど積極的に関与されたい。



病院事業 …………… **認定（賛成多数）**

- ◆市民の医療・健康に責任を担う公立病院として役割を再認識し、コロナ禍での国の動向を注視した経営の安定化、AI・ITなどの技術導入、それに伴う人材育成など率先して地域医療を牽引されたい。

認定（全会一致）

下水道事業
 ガス事業
 交通事業



常任委員会報告〈主な審査内容〉

総務委員会…議案9件「原案可決」

(9/20開催)

松江市消防団員の定年、任免、給与、服務等に関する条例及び松江市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

- 休団制度は、育児、介護等で長期間活動できない場合、3年を超えない範囲で、消防団員の身分を保持したまま、休団できる制度であるが、何度かに分けて休団する場合、1度につき3年以内とすることを考えている。
- 人口減少、団員の減少も踏まえ、松江市消防団充実強化計画を策定した。定数管理と同時に団員の報酬の適正化も図る必要があることから、消防団と協議を行い、進めていく考えである。



松江市職員の定年等に関する条例等の一部改正について

- 定年延長によって、現在のフルタイム再任用職員の選択があった場合と同様に、採用を抑制しないとイケないが、中堅若手職員にしわ寄せがいかないよう組織としてやっていく。

教育民生委員会…議案2件「原案可決」

(9/21開催)

令和4年度松江市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

- 令和5年度の人間ドックの助成事業について、11月末に募集案内を実施することから債務負担行為を設定するもの。



令和4年度松江市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

- 令和3年度決算額の確定に伴い、国県負担金の返還金などを計上するもの。

経済委員会…議案5件「原案可決」

(9/22、9/26開催)

松江市やくもアグリパークの設置及び管理に関する条例の一部改正について

- 開設当初は、都市部の方に長期間の農作業を体験してもらうという目的で使用期間を5年としていたが、現在では松江市内の方の利用が中心となっていることから、ほかの農園にあわせて3年とする。今後の市民農園の在り方を検討するにあたり、使用期間を統一したい。5年に1回の手続きが3年に1回と短くなることで不便になるかもしれないが、適切なタイミングでご案内し、手続きいただきたいと考えている。



松江市ガス供給条例及び松江市液化石油ガス販売条例の一部改正について

- 8月の検針分のところから需要家の方へ条例改正の内容についてのお知らせをしている。今後も折に触れて丁寧説明し、ホームページ等でもお知らせをしたい。

建設環境委員会…議案5件「原案可決」

(9/21現地視察、9/22、9/26委員会開催)

松江市手数料徴収条例の一部改正について

(建築行為を伴わない既存住宅の長期優良住宅認定申請手数料を設定するもの)

- 長期優良住宅認定制度のメリットとして、認定されることより融資制度等を低利で借りることができる。新築物件は令和3年度実績で579件あり、そのうち長期優良住宅に認定された件数は219件あった。



令和4年度松江市水道事業会計補正予算（第1号）

- 水道料金の減免について、令和2年度は新型コロナウイルスが流行し始め、事業を休止、縮小せざるを得ない事業所を支援する目的で、基本料金4ヶ月分を減免した。今回は市民生活支援ということで、各家庭に行き渡るよう、水道の用途が家事用、家事兼営業用の方々の生活に直結する部分を減免する。

予算委員会各分科会での質疑(主なもの)

令和4年度松江市一般会計補正予算(第4号)

令和4年度松江市一般会計補正予算(第5号)

総務分科会
9/20

●質疑のあった項目	①田和山史跡公園再整備事業に関し、公園内の復元建物跡の保存を求める団体との協議状況について ②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当する施策の考え方 ほか
●執行部の答弁	①公園内の復元建物跡は3棟あり、1棟はそのままの状態、もう1棟は修繕して活用する。さらにもう1棟は解体し、AR、VRで見せる方向性で進んでおり、保存を求める団体の方ともそういう方向性に向けて今後話を進める予定である。 ②市民に出来るだけ平等に行き渡る視点で施策を考えており、今回の補正予算に計上した水道料金の減免も、同様の視点で検討し事業化した。

教育民生分科会
9/20
9/21

●質疑のあった項目	①公立保育所、幼稚園、幼保園に導入しているICTシステムについて ②旧大谷小学校校舎の今後の利活用について ③オミクロン株対応ワクチンの小児への接種について ほか
●執行部の答弁	①公立保育所等に導入しているICTシステムは、QRコードによる児童の登降園管理や、保護者からの欠席の連絡、園からのお便りの配信などができるものであり、保護者の利便性もさることながら、職員の事務量の軽減にもつながっている。しかし、登降園の管理については、対面での確認も非常に大事なものと考えており、その手順を省くことのないようきちんと対応して参りたい。また、園児のバス置き去り事故のあった川崎幼稚園のシステムと、同様のものと考えている。 ②地域からは、地元の地域振興につながるような施策を講じてほしいという声もあり、現在、地元も含めて内部協議をしているところである。 ③オミクロン株対応ワクチンは12歳以上にしか使用できないため、5歳から11歳の小児の1回目から3回目接種については、従来の小児用ワクチンを引き続き接種していくことになる。

経済分科会
9/22
9/26

●質疑のあった項目	①観光地の高付加価値化事業の進捗状況について ②セーフティネット加入促進事業の開始時期と今後の実施予定について ほか
●執行部の答弁	①松江で10事業者、玉造で9事業者、美保関で11事業者、合計30事業者の方が予定しており、7月中旬頃に計画申請を行い、9月上旬に計画が採択された。現在は各事業者が補助金の交付申請の手続きを進めており、スケジュール等勘案され、内容の見直し、変更を考えている事業者もあると聞いている。 ②令和3年度の当初予算で、新型コロナウイルス対策事業として、農業者の経営の安定を図ることを目的とした保険加入を促進するため、予算化し実施した。令和3年度1年に限った加入促進として考えていたが、野菜価格の低迷、米価の下落に対してこの保険で約3分の1の方が補填を受けられたことを受け、さらなる加入促進を図るために、令和4年度も事業を行うこととした。

建設環境分科会
9/22

●質疑のあった項目	①コロナ禍対策の水道料金等の減免について ②再生可能エネルギー機器導入支援の見込みについて ほか
●執行部の答弁	①申請をしなくても手間なく速やかにできるという理由により、実施するに至った。対象世帯数は、水道が73,575世帯、下水道が2,812世帯、水道も下水道も繋がっていない給付金を支給する世帯が1,605世帯と見込んでいる。 ②蓄電池設備の申請件数が当初の計画では25件であったが、9月22日現在で114件の申請があった。今後は、再生可能エネルギービジョンと連動させ、目標値を設定して示したい。

令和4年度松江市一般会計補正予算(第6号)

●住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり5万円を支給

電力、ガス、食料品等価格高騰により、特に家計への負担の大きいと思われる市民への生活支援をするため、13億1,163万円の補正予算が提案されました。これは全額国庫補助金を財源とするもので、住民税非課税世帯、家計急変世帯(約25,000世帯)に対する市民生活を支援するものです。

給付事業費は12億5,000万円、事務費は6,163万円が見込まれており、全会一致で可決され、令和4年11月より順次確認書等の送付、随時給付が開始される予定です。

松江市の土地利用制度の考え方について

執行部より、令和4年3月に総合計画を策定したところで「市域内のバランスのとれた発展」実現のため、土地利用制度の考え方について論議を開始したとの報告を受けました。土地利用制度において本市と異なる出雲市と比較し、本市にどのような影響があったか、3点の仮説を立て検証を行った結論について説明を受けました。

仮 説	結 論
出雲市の方が松江市より定住先として選ばれているのではないかと。	出雲市では近年住宅着工件数が多く人口も増加している。その背景には、大規模事業所による雇用拡大があることから、定住先として選ばれている可能性がある。
出雲市には大規模小売店舗の新規出店が多く、松江市と商圈が競合しているのではないかと。	松江市民の買い物は市内が多く、出雲市への買い物は限定的であり、松江市と出雲市は、商圈が競合しているとは言えない。
松江市は生活利便性が確保されるなどコンパクトでまとまりのあるまちができていないのではないかと。	松江市はDID*面積が広がっておらず、人口密度も大きく低下していない、インフラ維持管理量が少ない、徒歩圏の利便性が高いなどの理由から、出雲市よりもコンパクトで効率的な市街地が形成されている。

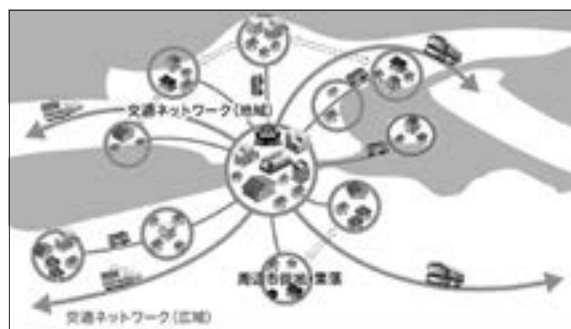
* DID…人口集中地区。国勢調査において設定される統計上の地区。

委員からは、線引き制度*創設当初の各自治体の導入状況や現在までの廃止の状況、線引き制度による土地の流通量の変化、大規模小売店舗や高齢者用専用住宅の建設との関係の有無についての質疑がありました。

また、「コンパクト・プラス・ネットワークという形で、まちの姿をつくっていくということであれば、その議論にあたり、地域事情として、今日の人口規模、人口構成などもデータとしてきちんと挙げるべき」、「橋北地域と橋南地域では地域格差があり、今日までの経過を参考にしながら橋北と橋南を対比させた土地利用制度を考えてほしい」などの意見がありました。

*線引き(制度)…都市計画法に定められた「区域区分」のこと。積極的に開発を進める「市街化区域」と、無秩序な市街化を防止し、農林漁業との調和を図る「市街化調整区域」に分けることをいう。

コンパクトプラスネットワーク イメージ図



*コンパクトプラスネットワーク…医療・福祉施設、商業施設などの生活サービス機能や住居が一定程度まとまって立地し、住民が公共交通等によりこれらの生活サービス機能にアクセスできるまちづくりの考え方。

新庁舎建設特別委員会

執行部より「新庁舎建設第一期工事の状況」、「第一期移転に向けた庁内の準備状況」、あわせて「出前講座の開催状況」に関する説明を受け、什器オフィス家具の発注については全体で68件の発注を予定し、11月頃に庁舎内にパイロットオフィスを配置し紹介するとのことでした。

委員からは、来訪者への案内について質疑があり、「総合案内を拡大してフロアに誘導係を駐車場へ配置し、連携をとりやすくすることを考えている。また、建物等について案内する誘導係を駐車場に配置したい」、「誘導係に市民ボランティアを募集するというアイデアを委員からいただいたので、ぜひ検討したい」との答弁がありました。また、窓口サービスについて質疑があり、「コンシェルジュ方式でご案内をする」、「1か所の窓口で手続きすれば、それが情報として全部回っていくような仕組みで、書かなくて済む窓口を目指している」との答弁がありました。そのほか、委員より「庁舎内に金融機関やATMを継続して設置することが利便性から必要」との意見がありました。



〈市内小学校で出前講座を開催〉

9月定例会 一般質問

市政のここが聞きたい 17人の議員が質問

9月定例会では、9月12日、13日、14日の3日間にわたり一般質問を行いました（感染症対策を施していますので、マスクを外して質問しています）。

質問した議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。



よしかね たかし
吉金 隆
(松政クラブ)



- 新型コロナウイルスについて
- 都市計画について
- 教育について（GIGA スクール構想）
- 教育について（部活動の外部移行）
- 児童福祉とヤングケアラーについて

会派代表質問

質問 都市計画について、なぜ出雲市は14年で変容を遂げられたのか

出雲市はなぜこのように変容を遂げられたのか。そこには松江市同様、平成17年に新設出雲市ができ、その3年後に島根県が決定した「出雲都市計画区域マスタープラン」があり「非線引き都市計画区域に定めた」ことにあるように思われる。県が決定をした平成20年当時、松江市の担当部局ではどのような認識であったのか。

回答 出雲市においては、平成20年頃までに区画整理事業などが実施された

出雲市は、9号バイパスの整備や土地区画整理事業などが実施され、住宅の新築・店舗の出店等で新たな市街地が形成されているものと認識している。一方松江市は、制度の開始から半世紀が経過し、変遷する社会の中で「線引き制度」が定住・移住や企業誘致などの支障となり、市街地周辺地域の衰退を招く要因となっているとのご意見も頂いている。



いしくら しげみ
石倉 茂美
(志翔の会)



- 市町村合併後の検証を生かしたまちづくりについて
- 松江水郷祭について
- 上下水道局の事業について
- 農業問題について

会派代表質問

質問 2日間での経済効果は幾らか

2日間での経済効果は幾らか。詳細について伺う。

回答 約15億円と推計し、地域の活性化につながった

2日間で約40万人の人出があった。宿泊施設では、1日目の稼働率が軒並み8割以上と大きな誘客効果があったものと捉えている。経済効果については、約15億円と推計している。また、松江水郷祭推進会議の収支予算は約8,100万円となり、支出の主な内訳は、花火打ち上げ費用が約3,000万円、警備等の安全対策費用が約1,600万円、テレビコマーシャルや新聞折り込みなどの広告宣伝費が約1,500万円、会場設営費が約1,200万円となっている。また、収入のうち、松江市からの補助金は1,700万円となっている。



やなぎはら おさむ
柳原 治
(明政会)



- 新型コロナウイルス感染症について
- 公共施設の利用について
- 公共交通について
- 産業の取組について
- 新庁舎整備事業について
- 上定市長の発信力について

会派代表質問

質問 今後の公共交通政策の取組を伺う

公共交通は、市民生活にとって必要不可欠なエッセンシャルなサービスである。本市として重要な政策であり、その取組を伺う。

回答 公共交通について丁寧に検討していく

公共交通を維持するため、運行路線の在り方、サービスと運賃体系のバランス、一般財源による赤字補填の規模など総合的に検討していかなければならない。市民の生活と密着し直結している公共交通については丁寧に検討し、令和5年度取りまとめる際に、公共交通全体としての在り方について検討を図りたい。



はせがわ しゅうじ
長谷川 修二
(公明クラブ)



- 新型コロナ感染症への対応について
- 教育について
- 町内会・自治会への加入状況と対策について
- 文化スポーツ部の役割について
- 鉄道・バス交通の在り方について
- 障がい者福祉について

会派代表質問

質問 全国大会入賞者の顕彰のため市報やホームページ等で紹介してはいいかがか

各種スポーツで全国的な大会において入賞された方々への顕彰を含めて、市報やホームページにおいて紹介してはいいかがかと思うが見解を伺う。

回答 本市公式SNSや市報、ホームページに掲載し各種団体と連携し紹介する

本市公式SNSでの紹介に加えて、市報や本市ホームページにも掲載するとともに、松江体育協会や市内の競技団体などと連携をして、活躍されている地元選手を積極的に紹介していく。



かわい ひろみつ
川井 弘光
(民主ネットワーク)



- 農林水産業の「担い手」育成・確保
- 「食料・農業・農村基本法」の検証
- 「人への投資」と「ひとづくり」
- 感染症対策の検証と次への備え

会派代表質問

質問 「ひとづくり」の実績と課題を問う

市長就任以来取り組んできた施策と今後の課題、都市経営をリードしコーディネートすべき市職員の育成など、「人への投資」についての実績と見解を伺いたい。

回答 核となる「人材」を発掘し育てたい

「人への投資」を通じた人材育成は、地域の持続的な発展に不可欠である。地域資源を生かしたまちづくりを議論する各種イベントを開催し、核となる人の発掘と育成に努めている。起業・創業へのチャレンジャーを産学官金の力を結集して支える仕組みを構築し、起業家精神を育む環境を整えるほか、職人商店街の形成により伝統工芸の担い手確保と育成につなげたい。また、柔軟で機動力のある市職員を育てることが急務だと認識しており、適材適所の人員配置、若手・中堅職員の積極的な登用を図り、「職員個人として発揮できる能力」と、「組織としての総合力」が最大化できるよう取り組みたい。



かわうち だいすけ
河内 大輔
(松政クラブ)



- 子どもを何不自由なく産み育てることができ環境の整備について
- 指定管理者制度の運用について
- 災害時の情報伝達等について
- SDGsについて
- 文化財建築物を守り育てることについて

質問 美保関地区の重要伝統的建造物群保存地区選定に向け、市の体制整備が必要

美保関地区の重要伝統的建造物群保存地区選定に向け、地元との協議が行われていると思うが、選定されたとなれば市と地元は永続的な付き合いになるため、何よりも信頼関係の構築が重要である。そのためにも、文化財等の専門的知識を有した建築技師の育成や組織の拡充再編成による複数人の専属的配置が必要だと思うが市の考えを伺う。

回答 文化財等の専門的知識を有した建築技師の採用や専属的配置を検討する

専門知識を有した建築技師1名を採用しているが、十分足りていない状況である。複数名を確保することで、専属的な配置が可能な環境が生まれると思うので、美保関地区との連携強化という面においても複数人の確保に向け検討していく。



なかむら ひかり
中村 ひかり
(志翔の会)



- 公共工事の不調対策について
- アプリぎゅっと松江について
- 不登校の支援について
- 連絡網アプリ活用について
- 待機児童問題について
- 政治参加促進について

質問 今後どのような支援ができるか

兄弟姉妹で違う保育所に入所したケースでは、保護者にとって大きな負担となる。市として今後どのような支援ができるか。

回答 令和5年度から加点の新設を検討している

兄弟姉妹が同一施設へ入所しやすくなるよう、選考時の入所審査の際に兄弟姉妹加点を設けているが、令和5年度からさらなる加点を検討している。また、兄弟姉妹と同一施設に転園を希望される場合、現在は加点をしていないが、令和5年度から加点を新たに設けることを検討している。



よねだ ときこ
米田 ときこ
(明政会)



- 不妊治療費助成事業等について
- 産後ケア事業等について
- 災害時（新型コロナウイルス感染症対策含む）における体制整備について

質問 産後ケア事業等の対象者の限定や、利用日数の延長等の考えはないか

産後ケア事業等の利用状況や対象者の緩和、利用日数の延長等の考えはないか。

回答 対象者が安心して利用できるようホームページの記載を修正した

デイサービス型は令和元年10月から開始し、委託施設の追加により令和3年度は82人、延べ433件の利用があった。訪問型はコロナ禍で希望者が多く、17人、延べ61件の利用があった。宿泊型は令和4年度から2施設で開始し、7月末までに5人、延べ16件の利用があった。対象者の方に安心して利用して頂けるよう、ホームページでの対象者の記載を「産後に心身の不調や育児不安のある方、ご家族などから十分なサポートが得られない方」に修正した。利用日数は7日を上限とし、必要に応じて延長するなど柔軟に対応しているが、一律の利用日数の延長については今後、利用者ニーズや他市の状況等を踏まえ検討する。



おおた さとし
太田 哲
(公明クラブ)



- ネーミングライツ
- 河川の雑草の除去
- マイナンバーカード
- SDGs 未来都市

松江市総合体育館の名称変更及び

質問 ネーミングライツに取り組んではいかがか

「松江市総合体育館という名称は古く感じ、最近はお〇アリーナなどが一般的である。名称を募集し、変更してはどうか」との相談がある。今後、(公財)松江体育協会も変更される。変更の際「ネーミングライツ」と呼ばれるスポーツ施設等の名称を社名や商品名にちなんだ名称に変更し、広告収入を得る手法を導入してはいかがか。

名称変更は広く意見を聞き、

回答 景気動向を注視し民間企業に働きかけたい

市民にスポーツを身近に感じて頂く手段として、施設名称に「スポーツ」を取り入れることは有効であり、今後広く意見を聞いていく。また、施設整備や改修のタイミングがネーミングライツ導入の好機であることから、そうした機会を捉えて、景気動向にも注視し積極的に民間企業に働きかけていきたい。



むらまつ りえ
村松 りえ
(志翔の会)



- MATSUE 起業エコシステムについて
- 子育て環境の充実について
- 松江総合運動公園のTNR活動について

質問 松江市での子育て環境の充実について伺う

今ある公園の中に、未就学児が使える遊具を設置する予定はあるか。また、動物と触れ合える場所を作ることを検討できないか。市長の所信表明にあった「雨の日でも外出できる場所の整備」は進んでいるのか。

誰でも遊べるインクルーシブ遊具の

回答 設置をする

未就学児が遊べる遊具や、年齢・性別・障がいの有無などに関わらず、誰でも遊べるインクルーシブ遊具を設置したい。現在実施中の公園アンケートの結果を踏まえ、公園のあり方協議会で検討し対応する。動物と触れ合える場所については、移動動物園などのイベントで公園用地の貸出しなどを協力を。雨の日でも家族で外出できる場所の整備について、令和4年度、子育て世代にアンケートを実施し、今後の事業化に向けニーズの把握や分析を行う。



かいとく くにひこ
海徳 邦彦
(公明クラブ)



- 海岸のごみについて
- 男子トイレサニタリーボックス設置について
- 認知症対策について
- パートナーシップ(宣誓)制度導入について

見守りとして「おかえりQRコード」を

質問 導入すべきと考えるが見解を伺う

松江市においても「おかえりQRコード」を導入し、認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちを目指すべきと考えるが、見解を伺う。

QRコードつき見守りシールの本格的な運用に

回答 当たっては、市民の皆様にも周知を図る

認知症等の理由から行方不明になる可能性のある高齢者の早期発見や早期の身元確認のため、本市でもQRコードつき見守りシール導入の検討を進めていて、4月から試行的に運用を開始している。

このQRコードを読み取ると、松江警察署や地域包括支援センターの連絡先が表示される仕組みとなっている。今後、認知症の方やそのご家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、見守りシールの本格的な運用に当たっては、市報やホームページなど様々な媒体を活用して広く市民の皆様にも周知を図り、地域の見守りの体制のさらなる強化を図る。



のつ なおつぐ
野津 直嗣
(松政クラブ)



- 団地造成に係る公園整備について
- 中海振興計画について
- 地方創生推進交付金と拠点整備交付金の活用について
- 特別交付税の見直しについて
- 芸術・文化の後継者育成及び環境造成について
- 観光施策について ほか3件

アートや文化の育成が図れるように

質問 今後どうやって支援していくのか

松江駅前でもアートイベントが開催された。市の市有地やテルサにおいて表現の場、またヨーロッパの様な投げ銭などによってアートや文化の育成が図れるように今後どうやって支援していくのか。

土地や施設の管理者の許可など

回答 気軽に活動できる環境づくりを進める

今後こうしたイベントを開催するにあたって、また若者が気軽にまちなかで芸術活動を行うにあたって、イベント会場として使う土地の所有者や施設管理者の許可などがスムーズに取得できる仕組みが必要であると認識している。令和3年度より行っているにぎわい創出のための社会実験も参考にしながら、本市で活動するアーティストや学生が気軽に活動できる環境づくりを進めていく。



にしおり のぶゆき
錦織 伸行
(会派に属しない議員)



- 天神川の環境整備により回収された水草、藻類の再利用について
- 中心市街地のさらなる商業活性化について
- 中心市街地の観光イベントについて
- 市職員の懲戒処分について
- **安倍元総理の国葬について**
- 市職員の町内会・自治会加入について

質問 安倍元総理の国葬について

国葬は国が主催する行事であり、国葬の儀である。国葬当日の松江市の市としての弔意の表明、半旗あるいは甲旗の掲揚などは考えないかを伺う。

本市が独自に弔意を表明することは

回答 考えていない

国葬当日の弔意の表明に関して、国は地方自治体等に協力を求めないとしているので、本市が独自に弔意を表明することは考えていない。また、弔意表明と同様、半旗、甲旗の掲揚は考えていない。



たちばな ふみ
(共産党市議団)



- 新型コロナウイルスから市民を守る施策について
- 島根原発2号機再稼働問題について
- 就学援助制度について
- **旧統一協会から市民を守ることに**ついて
- 再エネ100%の松江市へソーラーシェアリングについて

質問 行政は旧統一協会と関わるべきでない

旧統一協会（世界平和統一家庭連合）は、社会的に多くの問題を起こし、多数の被害者を生んできた反社会的カルト集団である。市民生活に被害を及ぼす団体に、行政が支援や後援、委託等を行うことは、行政のお墨付きを与えることになり、被害を拡大することにつながる。市は当該団体または関連団体と関わるべきでなく、それらとの関係を調査し明らかにすべき。見解を伺う。

旧統一協会及び関連団体などとの関わりは

回答 差し控えたい

令和2年度以降について市で調べる限り、関連団体の集会やイベントへの後援や出席はなかった。令和3年度に関連団体と報道されている団体から本市と市立病院に1件ずつ寄附を受けた。市民の不安が高まっていると考えられることから、旧統一協会及びその関連団体、また関連が疑われる団体との関わりは差し控えたい。



もりゆき はやと
森脇 勇人
(松政クラブ)



- 参議院選挙と合区解消について
- 国土強靱化と境港出雲道路について
- 山陰新幹線・伯備新幹線について
- 市内循環交通について
- **観光地の高付加価値化事業について**
- たばこ税と喫煙場所の設置について
- 原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法について ほか

質問 積極的な市の関与と県への要望を

会派としても勉強会、要望会を行ってきた事業で、今年度国から約16億円の補助を受け、総額約33億円の事業が行われる。今回申請できなかった施設や、市全域での観光拠点の整備について、積極的に取り組むべきと考える。観光庁は来年度も予算化する見込みであり、市の積極的な関与と、県へ引き続いての要望をして頂きたい。

回答 制度改正への速やかな対応に向け準備する

観光庁は来年度も継続実施する方針と聞いており、地域計画の作成や事業者への助言などの支援を行う。また、事業者が積極的に取り組めるよう県とも引き続き連携を図りたい。単年度事業のため、応募を諦めたり計画変更せざるを得ない事業者もあり、現行制度の緩和や拡充が必要と考えている。観光庁は基金化など制度拡充の方針を打ち出していることから、制度改正の動向に注視し、改正の際は速やかに対応できるよう準備する。



ふなき けんじ
舟木 健治
(共産党市議団)



- **不登校支援について**
- 教職員の労働安全衛生体制について
- 高齢者・障がい者等福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策について

不登校児童生徒の教育を受ける

質問 権利の保障について伺う

サポートワーカーや学習支援員のサポートを継続的に受けた児童生徒数、青少年相談室や青少年支援センターに通所していた児童生徒数は何人で何%か。反対に支援の届かなかった児童生徒数は何人で何%か。この支援の到達状況の認識を伺う。また、学校復帰を前提としない公的施設を市内各所に設置する考えはないか。

不登校にある児童生徒の「多様で適切な」

回答 居場所づくりを進めていく

令和3年度末時点での不登校児童生徒は合計502人で、学習支援員の利用は令和4年8月末時点で1名にとどまった。青少年相談室及び青少年支援センターへの通所は全体の13.7%となる69名、相談・支援を受けていない児童生徒は全体の33.0%となる166人で、改善が必要と考えている。施設の新設にこだわらず、訪問指導や支所・公民館等の活用により多様な居場所づくりを進めたい。



みしま あきら
三島 明
(明政会)



- 市内のバランスのとれた発展について
- 松江の文化の担い手について

質問 芸術監督の設置、人選が必要では

松江の文化に触れる人を広げていく、言わば文化の裾野を広げていくことは大切なことであるが、文化そのものを深め、高めていくことも併せて必要だと思う。

プラバホールが2年後にはリニューアルされようとする今、芸術監督の設置、人選が必要ではないか。これは、パイプオルガンの最大限の活用、小中学校でのクラシック音楽指導、スクールコンサートなどに密接につながる。松江市の音楽文化の趨勢が決まると言っても過言ではない。芸術監督設置に対する市の見解を伺う。

回答 候補者の選定等を進めているところ

プラバホールに芸術面の総合調整役、いわゆる芸術監督を配置することは、同ホールの運営面にとどまらず、本市全体の音楽文化振興に資するものと認識している。外部登用を念頭に、音楽関係者や音楽関係団体へのヒアリング等を行いながら、候補者の選定等を進めている。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

11月定例会日程

月	日	曜日	会議名
11	30	水	本会議(会期の決定、提案説明)
12	5	月	本会議(一般質問)
	6	火	本会議(一般質問)
	7	水	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
	8	木	総務委員会・予算委員会総務分科会
	9	金	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	12	月	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	13	火	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	16	金	予算委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)
20	火	本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)	

(議会事務局 TEL 55 - 5432)

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後も引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行により時間が前後する場合がありますので、詳しくは当日お問い合わせください。

委員会行政視察報告

宍道湖・中海問題等対策特別委員会

～水辺を活かしたまちづくりについて～

令和4年8月22日～8月24日
委員長 野津 直嗣

【大阪府大阪市】

- 『天王寺公園のパークPFIについて』
 - 『水都大阪の水辺を活かした取組について』
 - 『企業の取組と目指す水辺の形について』
- ほか、4箇所を現地視察

【兵庫県神戸市】

- 『ウォーターフロントの基本構想やビジョンについて』
- 『ウォーターフロントの全体計画と概要、今年度の計画について』
- 『umieモザイクにおける水際整備について』



天王寺公園(てんしばエリア)でのパークPFIについて視察



(有)ハートビートプラン代表による「企業の取組と目指す水辺の形」について

宍道湖・中海問題等対策特別委員会では8月22日から8月24日にかけて大阪市と神戸市へ水辺を活かしたまちづくりについて議員と担当部局で現地視察・研修を行いました。

1・2日目の現地視察では、天王寺公園(てんしばエリア)での民間力を活かした活用方法(パークPFI)、とんぼりリバーウォークでの水辺空間の回遊性、タグボート大正での港湾緑地の先進的な活用事例、北浜テラスでの護岸の憩い空間をもたらす取組などを視察しました。また、座学研修として大阪市役所では水都大阪の全体の取組について説明を受け、2日目には民間企業(有)ハートビートプラン代表を講師に迎え地域に根ざした官民連携のまちづくりの業務プロセスなどを研修しました。「人口減少・少子化のなかで使われない空間や建物を活用するうえで、使い手が共感しやすい『使う目線』でスタートし、30年、50年のスパンで価値を上げていくことが重要」との意見が印象的でした。

3日目は神戸市役所で「神戸ウォーターフロント再開発」の取組を研修し、umieモザイクの現地視察では水辺と建築物の景観性についても見学しました。いずれも、これからの大橋川改修に伴うまちづくりにおいて水の都松江としての水辺の利活用や、それに伴うハード整備など、共通の認識を持たせた視察でありました。

災害発生時対応訓練

(7/26実施)

～議会でも災害対策活動に取り組みます！～

近年、豪雨や地震などの自然災害は大規模化・多様化しており、いつどこでどんな災害が起こってもおかしくありません。松江市議会は平成27年に「松江市議会災害発生時対応要領」および「災害発生時の議員行動マニュアル」を定めており、7/26(火)に災害発生時対応訓練を実施しました。

今回の訓練では市議会内に「災害対策支援本部」を設置し、市の災害対策本部との連携等について確認しました。各議員の安否確認をはじめ、議員が登庁できない場合を想定し、オンラインを活用した訓練が実施しました。議員が確認した道路の冠水や土砂崩れ等の報告も行われ、市の災害対策本部と情報共有され、きちんと機能することが確認できました。



〈災害対策支援本部へオンラインにて報告する様子〉

島根県市議会議長会議員研修会

(8/2開催)

～島根県におけるアフターコロナの観光地づくり～

8月2日、出雲市で開催された島根県市議会議長会議員研修会に出席しました。

総務省統計局統計利用推進研究官・長藤洋明氏から「データの利活用による地域の諸課題の解決」について、また、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部准教授・篠原靖氏からは「島根県におけるアフターコロナの観光内づくり」について、講演を受けました。

地域観光コンセプトづくりのポイントや民力が主体にした稼ぐ観光の仕組みづくりが求められており、従来型観光からの脱却の必要性を学びました。

地域観光を成功させるキーワードとしては、「観光客数よりも観光消費額を重視すべき」、「いまだけ、ここだけ、あなただけ、＝ここでしかないものを作る」などが示されました。



(参考)「政府統計の総合窓口」
HPはこちら



〈ビッグハート出雲を会場に研修〉

島根県市町村議会広報研修会

(8/25開催)

～「伝える」から「伝わる」へ～

8月25日、松江市「ホテル白鳥」にて島根県町村議会議長会主催の島根県市町村議会広報研修会が開催され県内から8町、5市の広報等委員や事務局職員74名が集まりました。松江市議会広報等委員会も委員全員が参加しました。「議会広報デザイン&クリニック」と題し、佐久間智之氏(PRDESIGN JAPAN株式会社代表取締役)が3時間にわたって講演されました。佐久間氏は20年間埼玉県三芳町の職員として広報に携わり、全国コンクールで内閣総理大臣賞を受賞、現在総務省や厚労省でアドバイザーなどを務め、「広報の教科書」など著書も多数ある方です。

「読まれない広報紙は税金の無駄」と、ご自身の経験も踏まえて述べられ、「市民に手にとってもらえる広報は“伝えたい”ことではなく、市民が“知りたいこと”が載っていること」と、他市の先進的な広報を事例に、全ての人へ配慮したデザイン＝ユニバーサルデザインを活用し、「住民が主役の議会だよりへ」と講演を結びました。参加市町作成の議会だよりにアドバイスも行っていただき、実践的な研修となりました。



〈講演を行う佐久間 智之氏〉

自転車マナーアップ運動を実施しました (9/30実施)

松江市議会が提案して、平成26年8月1日に施行した「松江市自転車安全利用条例」に基づいて、松江市では自転車マナーアップ運動を展開しています。そうした中、秋の交通安全運動にあわせて9月30日(金)の早朝、松江市内各所において、市議会議員も参加して街頭指導を行いました。例年、キャンペーン配布物は「反射材」などを配付していますが、本年は西津田交差点で世相を反映して手袋をしての「除菌ジェル」配布でした。



〈配布した除菌ジェル〉

〈西津田交差点での街頭指導〉

議会報告会「松江市議会レポート」を配信しています

市議会での議論や意見を分かりやすく報告するテレビ番組 **議会報告会「松江市議会レポート」** をマール公式YouTubeチャンネルで配信を行っています。(※11月28日(月)までは、マール11chでも放送)

番組では、各委員会の委員長が市政の課題解決に向けて議会での議論や意見をわかりやすく報告しています。今回報告させていただくのは、総務・教育民生・経済・建設環境委員会と決算特別委員会の5委員会です。YouTubeチャンネルにアクセスいただき、ぜひご覧ください。

ご視聴頂きましたら、ご意見、ご感想等を伺うアンケートを松江市議会ホームページ(松江市議会レポートで検索)に掲載していますので、ぜひご協力ください。

(マール公式YouTubeチャンネル)
<https://www.youtube.com/c/marbleofficialchannel>



議長の公務(主なもの)

- 7/ 4：2022年 松江地区日韓親善協会 通常総会
- 7/14：全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会及び定期総会
- 7/19：海の日記念式典



〈海の日記念式典に出席し、祝辞を述べる立脇議長〉

- 7/21：松江歴史館企画展 オープニング式典
- 8/ 2：東出雲複合施設起工式
- 8/ 9：中海・宍道湖圏域市議会議長会

「市議会だより」へのご意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86
 議会広報等委員会(松江市議会事務局)
 電話 (0852)55-5053
 ファックス (0852)55-5533
 議会事務局メールアドレス
 giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/>



編集後記

過ごしやすい秋が終わり、寒い冬を迎えます。皆様は「暑さ」と「寒さ」どちらが好きですか。

毎回、各委員は、担当する記事に関して、真剣に悩み取り組んでいます。今号は、8月に行われました島根県内の市町の議会広報委員が集まった研修会で学んだことを参考にして作成しました。

「見やすい・読みやすい誌面」となっておりますでしょうか。よろしければ、ご感想をお聞かせいただけますと喜びます。これからも、市民の皆様が、少しでも市議会に関心興味を持っていただけるよう、取り組んでまいります。

議会広報等委員 海徳 邦彦